

## 2014 年度 定例総会議事録

標記の総会が 2014 年 5 月 23 日（木）17 時 00 分より東京都立川市統計数理研究所第会議室にて川崎会長の議長の下開催された。出席 35 名，委任状により表決権を委任した者 72 名（議長委任 70 名，川崎会長委任 2 名）で，出席者合計が，3 月 31 日現在の正会員数 498 名の 10 分の 1 以上となり会則第 14 条により総会は成立した。以下の事項が報告・承認された。（V. は報告のみ。）

### I. 2013 年度事業報告 (2013. 04. 01～2014. 03. 31)

#### 1. 概況

2013 年度は，昨年度に引き続き，川崎茂会長・瀬尾隆副会長をはじめとする 15 名の理事，および鎌倉稔成・清水邦夫の両監事の体制で活動した。

財務状況はかなり改善された。経費削減策が奏功した結果である。

2013 年度中の会員の入会，退会状況は，入会者数 24 名（内訳：正会員 15 名，学生会員 8 名，機関購読（団体）1 件），退会者数 31 名（内訳：正会員 25 名，学生会員 4 名，機関購読（団体）2 件）であった。この結果，会員数は 2013 年度末現在で 526 名という状況である。内訳は正会員 498（504）名，学生会員 28（28）名，賛助会員 6（6）社，機関・団体購読は 42（43）件である（カッコ内の数字は 2012 年度末のもの）。正会員と学生会員を足した会員数の推移は次のとおり。会員増への方策が望まれる。

	2009 年度末	2010 年度末	2011 年度末	2012 年度末	2013 年度末
会員数	553 名	550 名	547 名	532 名	526 名

#### 2. 総会の開催

総会を 2013 年 5 月 25 日に「パルセいいざか」1 階第 1 会議室（福島市）で開催した。

#### 3. 評議員会

2013 年 5 月 25 日に定例評議員会を開催し，総会に付議する事項等について審議した。

#### 4. 理事会

対面理事会を 1 回，メール審議理事会を 5 回，計 6 回理事会を開催し，学会の運営に関する事項について審議した。審議内容を要録として学会誌に掲載した。この他に，会員の入退会に関するメール理事会を 18 回開催した。

#### 5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.42 の No.1, No.2 および No.3 を発行した。Vol.42 の掲載原稿は，研究論文 3 編，その他 8 編である。総ページ数の推移は次のとおり。

	Vol. 37	Vol. 38	Vol. 39	Vol. 40	Vol.41	Vol.42
総ページ数	156 頁	180 頁	130 頁	209 頁	152 頁	195 頁

## 6. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文から選考し、以下のように学会論文賞を授与した。

### (1) 優秀論文賞

野間久史, 田中司朗 「Multiple Imputation 法による 2 段階ケースコントロール研究の解析」, Vol. 41(2), 79-95.

### (2) 奨励論文賞

\*王 敏真, 清水邦夫, 上江洲香実 「方向統計学の利用による地震緯度・経度・マグニチュードデータの解析」

Vol. 42(2), 29-44. (\*が受賞者)

## 7. 年会

2013 年度年会を 2013 年 5 月 24~25 日に「パルセいいざか」(福島市)で開催した。応用統計学会・日本計量生物学会合同特別企画セッション 4 件, 一般講演 6 の発表があった。また, ポスターセッションでは 8 件のポスター発表が行われ, 優秀ポスター発表として以下の 3 名を選出した。

川崎玉恵 (東京理科大学大学院)

倉上弘幸 (東京理科大学大学院)

田中弥生 (東京理科大学大学院)

参加者は 105 名(正会員(後援学会員を含む) 73 名, 学生会員 21 名, 非会員 11 名)であった。参加者数の推移は次のとおり。

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
参加者数	91 名	126 名	125 名	122 名	105 名

## 8. 市民講演会

日本計量生物学会と合同主催により, 2013 年 5 月 25 日午後に「パルセいいざか」2 階コンベンションホールで開催した。「応用統計学会・日本計量生物学会会長講演」とし, 川崎茂応用統計学会会長, 大橋靖雄日本計量生物学会会長より講演を行った。参加者は 103 名であった。

## 9. 理数系教員指導力向上研修

日本計量生物学会と合同主催により, 2013 年 5 月 25 日午前に「パルセいいざか」2 階コンベンションホールで開催した。『新学習指導要領に対応する統計授業力向上～「資料の活用」・「データの分析」で育む問題解決力』をテーマとし, 長尾篤氏(文部

科学省視学官), 田栗正章氏 (大学入試センター), 藤井良宜氏 (宮崎大学), 柴田義貞氏 (福島県立大学), 原田直伸氏 (総務省統計局) より講演を行った。参加者は 83 名であった。

## 10. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を 2013 年 9 月 8 日～11 日に大阪大学豊中キャンパスで開催した(共催: 応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会)。

参加者総数 979 名, 発表件数 324 件で, この内, 企画セッション 75 件, コンペセッション 23 件であった, また, チュートリアルセミナー (参加 238 名), 市民講演会が行われた。本学会の企画セッションとして, 応用統計学会論文賞講演, 「2 次多項式回帰曲線の正值性検定」, 「誤差相関のない確認的直交二因子モデルの探索可能性について」を行った。

大会参加者総数とチュートリアルセミナー参加者の推移は次のとおり。

	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
大会	900 名	821 名	824 名	979 名
チュートリアルセミナー	288 名	147 名	141 名	238 名

## 11. 関連学会等との共催行事

共催した行事は次のとおり。

「田口玄一博士一周忌追悼シンポジウム —統計科学から見たタグチメソッドの現在・過去・未来—」 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所サービス科学研究センター, リスク解析戦略研究センターが主催し, 本学会は共催団体の 1 つ。2013 年 5 月 13 日, 筑波大学東京キャンパス

## 12. 関連学会等との協調

以下の各連合組織に当学会より担当する理事又は特別任務を担当する学会員を指名し, 各委員会に出席するなど協調を行った。

### (1) 統計関連学会連合

理事会 (川崎会長, 瀬尾副会長), 幹事 (黒木理事, 大西理事), 事業委員会 (鎌倉監事), 統計教育推進委員会 (田栗正章会員, 福井武弘会員), 教材開発委員会 (中西理事, 藤井理事, 渡辺理事, 小林良行会員, 南美穂子会員)

### (2) 統計関連学会連合大会

2013 年度大会 プログラム委員会 (竹内理事, 渡辺理事), 運営委員会 (黒木理事)

2014 年度大会 プログラム委員会 (竹内理事, 渡辺理事), 運営委員会 (西山貴弘

会員)

- (3) 横断型基幹科学技術研究団体連合  
代議員（鎌倉監事），学術・国際委員会及び産学連携委員会（渡辺理事）
- (4) 統計教育大学間ネットワーク  
運営委員会（渡辺理事），質保証委員会（田栗正章会員，福井武弘会員），カリキュラム策定委員会（中西理事，藤井理事，渡辺理事，小林良行会員，南美穂子会員）
- (5) リスク研究ネットワーク役員  
運営委員会（椿理事）
- (6) 統計検定（一般財団法人 統計質保証推進協会）  
後援を行うと共に，各種委員会運営にも協力

### 13. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを常に更新し，学会員への情報公開を円滑にした。また，メーリングリストによる情報公開を行った。

その他の事業については応用統計学会のホームページをご覧ください。

## Ⅱ. 2013 年度決算報告 (自 2013 年 4 月 1 日～至 2014 年 3 月 31 日)

### 1. 収入の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	2,542,500	2,380,000	162,500
(1) 正会員	2,352,500	2,200,000	152,500
(2) 学生会員	50,000	60,000	▲ 10,000
(3) 賛助会員	140,000	120,000	20,000
2. 雑誌売上収入	266,600	218,400	48,200
(1) 購読料収入	222,600	218,400	4,200
(2) バックナンバー売上	44,000	0	44,000
3. 広告料	90,000	90,000	0
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入	583,500	450,000	133,500
5. 年会等関係収入	222,500	270,000	▲ 47,500
(1) 年会収入	222,500	270,000	▲ 47,500
(2) チュートリアル収入	0	0	0
(3) ワークショップ収入	0	0	0
6. 雑収入 (著作権料・利息等)	70,452	70,000	452
当期収入合計	3,775,552	3,478,400	297,152
前期繰越金	4,014,009	4,014,009	0
収入合計	7,789,561	7,492,409	297,152

### 会費収入に関する補足

2014 年 3 月 31 日現在会員 526 名

・内訳 正会員 498 名, 学生会員 28 名

・正会員収入内訳

2012 年度まで 175,000 円(30 名) 2011 年-2012 年度 5 名, 2012 年度 25 名

2013 年度 1,282,500 円 (257 名)

学生会員からの種別変更に伴う会費差額納入(2,500 円) 1 名を含む

2014 年度から 890,000 円 (178 名)

2015 年度から 5,000 円 (1 名)

・学生収入内訳

2012 年度まで 2,500 円 (1 名) 2012 年度 1 名

2013 年度 35,000 円 (14 名)

2014 年度から 12,500 円 (5 名)

・会費納入率 90.13% (前年度に納入された 990,000 円を含める)

・機関購読数 42 件

2. 支出の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関紙関係費	1,558,103	1,570,000	▲ 11,897
(1) 印刷費	1,124,025	1,050,000	74,025
(2) 校正費	150,000	150,000	0
(3) 通信・発送費	284,078	370,000	▲ 85,922
2. 年会等関係費	490,655	320,000	170,655
(1) 年会支出	481,655	320,000	161,655
(2) チュートリアル支出	9,000	0	9,000
(3) ワークショップ支出	0	0	0
(4) 共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	967,244	1,160,000	▲ 192,756
(1) 事務委託費	750,000	750,000	0
(2) 消耗品費	66,670	120,000	▲ 53,330
(3) 会議費	8,000	80,000	▲ 72,000
(4) 雑費	73,654	80,000	▲ 6,346
(5) 名簿作成費	0	0	0
(6) 事務合理化費	7,350	20,000	▲ 12,650
(7) 選挙費	61,570	110,000	▲ 48,430
4. 役員旅費補助	0	150,000	▲ 150,000
5. 関連学会協調事業費	103,040	110,000	▲ 6,960
(1) 関連学会年会費	80,000	80,000	0
(2) 連合大会	23,040	30,000	▲ 6,960
6. 学会賞	59,320	70,000	▲ 10,680
当期支出合計	3,178,362	3,380,000	▲ 201,638
収支差額（次年度繰越金）	4,611,199	4,112,409	498,790
支出合計	7,789,561	7,492,409	297,152

- ・ 1(1)印刷費・・・「応用統計学」Vol. 42-1, 42-2, 42-3
- ・ 2(2)チュートリアル支出・・・2014年度案内印刷費
- ・ 3(6)事務合理化費・・・ドメイン名登録更新料

2014年度への繰越金の内訳



項目	2013年3月31日現在	2014年3月31日現在
銀行預金	1,431,886	1,196,172
郵便貯金	839,270	839,471
定額貯金	500,000	500,000
郵便振替	1,241,998	2,061,278
現金	855	14,278
合計	4,014,009	4,611,199

会計監査報告書

応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2013年4月1日より2014年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2014年4月20日

監事 清水 邦夫   
鎌倉 稔成 

### Ⅲ. 2014 年度事業計画案 (2014. 04. 01～2015. 03. 31)

#### 1. 機関紙の発行

「応用統計学」 Vol. 43 を発行する.

#### 2. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞を授与する.

#### 3. 年会の開催

今年度は年会を 2 回開催する. 1 回目は 5 月 22, 23 日に統計数理研究所 (立川市) にて開催し, 併せて評議員会及び総会を開催する. 2 回目は, 3 月 13, 14 日 (2015 年) に京都大学 (京都市) にて開催する.

#### 4. チュートリアルセミナーの開催

日本計量生物学会と共同主催で, 5 月 23 日午前統計数理研究所 (立川市) において開催する. テーマは「ビッグデータと秘匿化の諸問題」で, 星野伸明氏 (金沢大学), 花岡悟一郎氏 (産業技術総合研究所), 佐藤慶浩氏 (日本ヒューレット・パカード) の講演を行う.

また, 3 月 13 日 (2015 年) 午後には, 日本計量生物学会と共同主催でのチュートリアルセミナー等を行う予定である.

#### 5. 統計関連学会連合大会での企画セッション

2014 年度統計関連学会連合大会を 2014 年 9 月 13 日～16 日に東京大学 (本郷キャンパス) にて開催する. 応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会が共催する. 企画セッションとして当学会からは, 「応用統計学会シンポジウム: 技術開発プロセスを加速させるための知の統合」及び「応用統計学会 学会受賞者講演」を行う予定である.

#### 6. 研究集会

必要に応じてその他の研究集会を開催する. また, 科研集会を支援する.

#### 7. 関係学会との協調

以下の団体への加盟を継続し協力すると共に, その他関係学会との協調を促進する.

- (1) 統計関連学会連合
- (2) 横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)
- (3) 統計教育大学間連携ネットワーク



(4) リスク研究ネットワーク

(5) 統計検定

#### 8. 財務体質の改善

会員増強および経費削減に努める。

#### 9. 学会員への情報公開

ホームページの充実をはかり，学会員への情報公開を円滑に行う。

#### 10. その他

2015 年度の通常総会及び定例評議員会の開催時期，2015 年 3 月の年会開催時に臨時総会を開催するか否か等については，今後検討し速やかに決定する。

IV. 2014 年度予算案 (自 2014 年 4 月 1 日～至 2015 年 3 月 31 日)

1. 収入の部

勘定科目	2013年度予算	2013年度実績	2014年度予算
1. 会費収入	2,380,000	2,542,500	2,377,500
(1) 正会員	2,200,000	2,352,500	2,200,000
(2) 学生会員	60,000	50,000	57,500
(3) 賛助会員	120,000	140,000	120,000
2. 雑誌売上収入	218,400	267,400	222,600
3. 広告料	90,000	90,000	90,000
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入	450,000	583,500	450,000
5. 年会等関係収入	270,000	222,500	1,440,000
(1) 年会収入	270,000	222,500	580,000
(2) チュートリアル収入	0	0	860,000
(3) ワークショップ収入	0	0	0
6. 雑収入 (著作権料・利息等)	70,000	69,652	70,000
当期収入合計	3,478,400	3,775,552	4,650,100
前期繰越金	4,014,009	4,014,009	4,611,199
収入合計	7,492,409	7,789,561	9,261,299

個人会員の会費納入率を 90%として

正会員・・・・・・440名(489名×0.90)×5,000円=2,200,000円

学生会員・・・・・・23名(26名×0.9)×2,500円=57,500円

賛助会員・・・・・・6件×20,000円=120,000円

・ 2. 雑誌売上収入 団体会員購読料収入・・・

53部(42件)×6,000円×0.7(マテマティカ手数料)=222,600円

・ 4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入・・・

掲載料(ページチャージ)1号につき15万円×3号分=450,000円

但し予算収入は掲載料を見込む

・ 5. 年会等関係収入・・・年会を2回開催予定(2014年5月, 2015年3月)

2. 支出の部

勘定科目	2013年度予算	2013年度実績	2014年度予算
1. 機関紙関係費	1,570,000	1,558,103	1,570,000
(1) 印刷費	1,050,000	1,124,025	1,050,000
(2) 校正費	150,000	150,000	150,000
(3) 通信・発送費	370,000	284,078	370,000
2. 年会等関係費	320,000	490,655	900,000
(1) 年会支出	320,000	481,655	600,000
(2) チュートリアル支出	0	9,000	300,000
(3) ワークショップ <sup>o</sup> 支出	0	0	0
(4) 共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,160,000	967,244	1,103,785
(1) 事務委託費	750,000	750,000	750,000
(2) 消耗品費	120,000	66,670	120,000
(3) 会議費	80,000	8,000	80,000
(4) 雑費	80,000	73,654	80,000
(5) 名簿作成費	0	0	0
(6) 事務合理化費	20,000	7,350	20,000
(7) 選挙費	110,000	61,570	53,785
4. 役員旅費補助	150,000	0	150,000
5. 関連学会協調事業費	110,000	103,040	80,000
(1) 関連学会年会費	80,000	80,000	80,000
(2) 連合大会	30,000	23,040	0
6. 学会賞	70,000	59,320	50,000
小計	3,380,000	3,178,362	3,853,785
7. 予備費	4,112,409	4,611,199	5,407,514
当期支出合計	7,492,409	7,789,561	9,261,299

- ・ 1. 機関紙関係費 印刷費・・・43巻1-3号の1号につき35万円として算出
- ・ 2. 年会等関係費・・・年会を2回開催予定(2014年5月, 2015年3月)
- ・ 5. 関連学会協調事業費 関連学会年会費・・・

横断型基幹科学技術研究団体連合年会費5万円,  
統計関連学会連合年会費3万円を含む

## V. 会長，副会長及び評議員選挙結果（2014年4月20日開票）

2014-2015年度会長，副会長及び評議員選挙の結果，以下の方々が当選した．

○会長 樋口知之

○副会長 水田正弘

○評議員（23名）

### 【地区代表評議員】

・北日本・北関東 折笠秀樹，山口拓洋

・南関東 瀬尾隆，椿広計

・東海近畿 辻谷将明，山本紘司

・西日本 大瀧慈，佐藤学

### 【それ以外の評議員】（五十音順）

會田雅人，安藤友紀，岩崎学，鎌倉稔成，川崎茂，  
岸野洋久，栗木哲，黒木学，古賀正，田畑耕治  
富澤貞男，永田靖，南美穂子，宮岡悦良，渡辺美智子

## VI. 新理事及び新監事

2014-2015年度理事及び監事の選任を以下の通り承認した．

○理事（13名）

庶務（文書） 中村永友

庶務（広報・教育普及） 酒折文武

庶務（組織） 中西寛子

会計 本橋永至

編集 大西俊郎，井元清哉

企画 佐藤忠彦，福水健次

無任所 安宅和人，川崎茂，鈴木督久，永田靖，藤澤洋徳

○監事（2名） 椿広計，渡辺美智子